



広報 —ご家族皆さんでご覧ください—

ふたば

助け合あう! 双葉



5

災害版No.12 5月号
2012



表紙写真：希望に胸をふくらませて

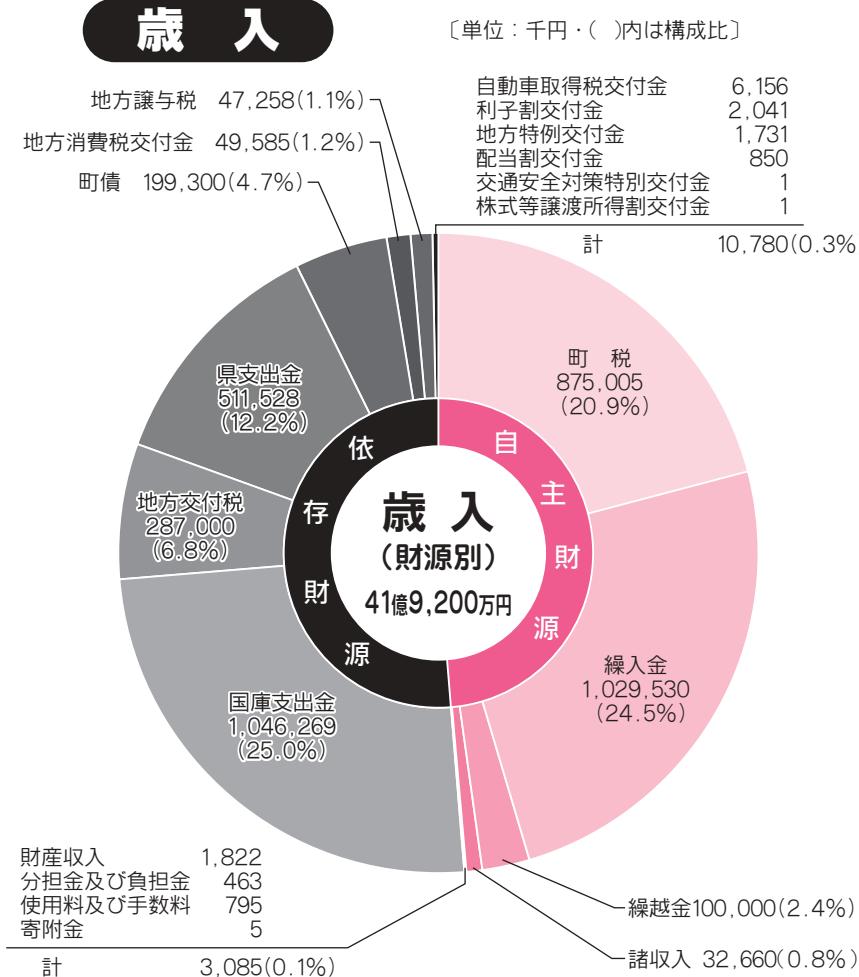
平成24年5月1日発行 編集・発行 / 双葉町埼玉支所 秘書広報課

平成24年度

一般会計当初予算額

41億9,200万円

平成24年度の双葉町の当初予算が決まりました。一般会計当初予算額は、前年度比6億9,400万円(14.2%)減の41億9,200万円となりました。国民健康保険、公共下水道事業、介護保険などの6特別会計が20億4,934万9千円となり、一般会計と特別会計の総額では、62億4,134万9千円となりました。当初予算の概要についてお知らせします。



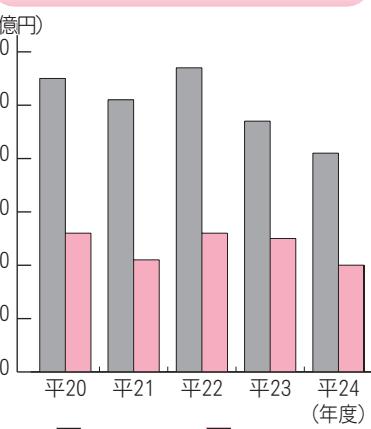
町税は、東日本大震災及び原子力災害による被災者に対する税の減免措置等により前年度に比べ10億3,934万6千円(54.3%)の大額な減となりました。国庫支出金は電源立地地域対策交付金の減などにより1億2,201万1千円(10.4%)の減、県支出金も1,398万7千円(2.7%)の減となりました。

繰入金は税等の減収分を補うため、財政調整基金や東日本大震災復興基金などからの繰入が6億3,234万3千円(15.9.2%)の増となりました。また、町債は、臨時財政対策債の発行額が増加し、前年度に比べて2,930万円(17.2%)の増となりま

た。児童生徒にかかる幼稚園就園奨励費や要保護及び準要保護児童生徒就学援助費、双葉町成人式の実施に要する経費を計上しております。

一般会計予算

一般会計当初予算規模の推移



総務費は、復興まちづくり計画策定により、前年度に比べ5,534万4千円(8.3%)の増となりました。民衆費は青年婦人会館や児童館等の運営に避難されている皆さまの支援にかかる経費を計上しております。衛生費は、内部被ばく検査や甲状腺検査等の実施により5,994万2千円(17.5%)の増、労働費も緊急雇用創出基金事業の実施により7,712万9千円(2.97.1%)の増となりました。農林水産業費は農道・水路・ため池等整備工事、国営諏戸川土地改良事業償還金などの減により9,236万5千円(42.8%)の減、土木費も道路橋梁工事などの減により1億3,503万3千円(25.7%)の減となりました。教育費は、小・中学校や学校給食センター等の運営経費の減が大きく、4億1,013万1千円(67.3%)の減となりました。避難生活を余儀なくされている児・児童生徒にかかる幼稚園就園奨励費や要保護及び準要保護児童生徒就学援助費、双葉町成人式の実施に要する経費を計上しております。

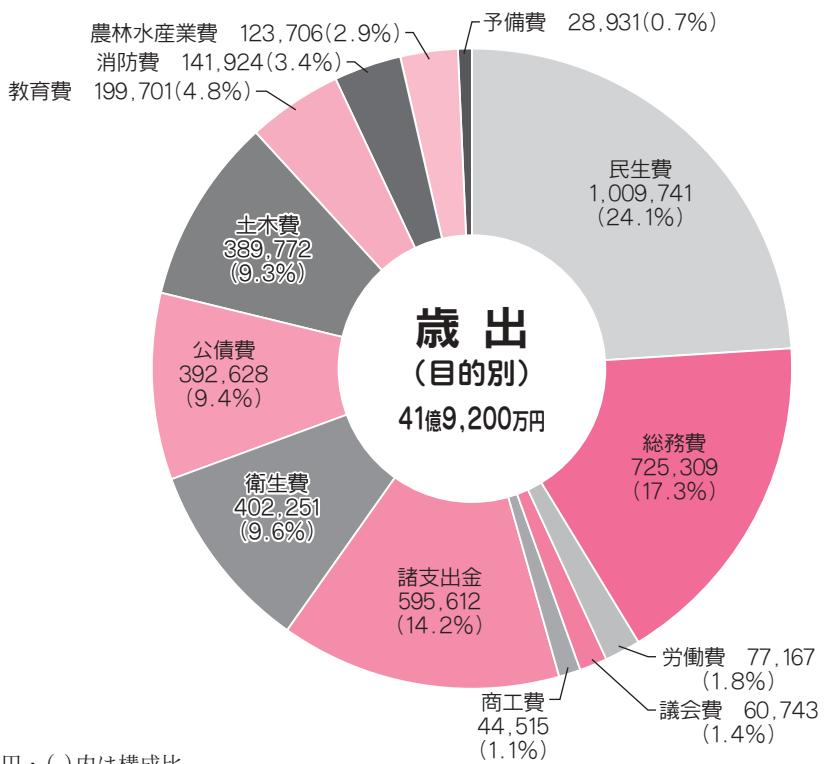
歳出

一般会計の主な事業

事業名	事業費
役場機能移転検討に係る事務等委託	1,000
復興まちづくり計画策定業務委託	100,000
原子力損害賠償手続業務委託	50,000
災害弔慰金	125,000
仮設住宅等自治会運営費補助金	3,000
総合健康診査業務委託	19,832
内部被ばく検査業務委託	210,000
甲状腺検査業務委託	34,980
緊急雇用創出基金事業	77,167
幼稚園就園奨励費補助金	14,164
要保護及び準要保護児童生徒就学援助費	30,735
双葉町成人式事業	1,529

歳出

〔単位：千円・（）内は構成比〕

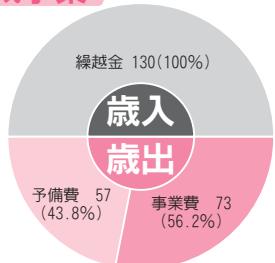


特別会計予算

〔単位：千円・（）内は構成比〕

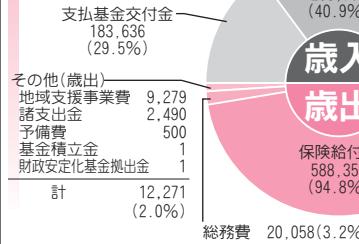
工業団地造成事業

130千円



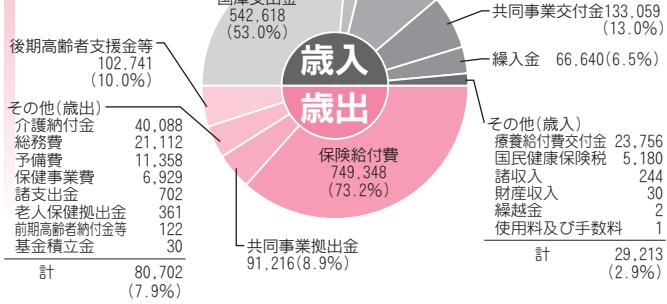
介護保険

620,687千円



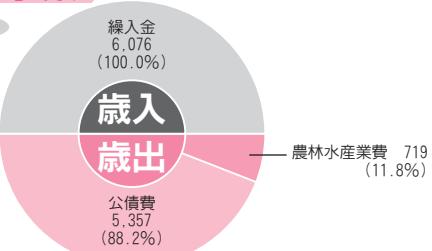
国民健康保険

1,024,007千円



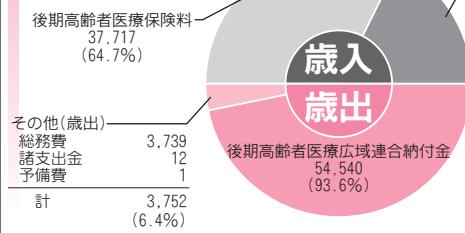
公有林整備事業

6,076千円



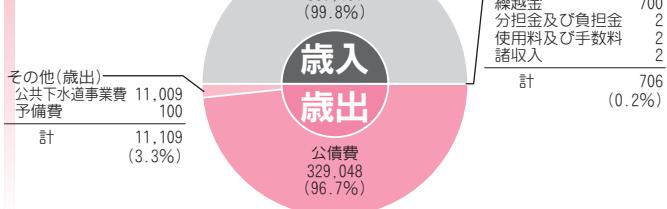
後期高齢者医療

58,292千円



公共下水道事業

340,157千円



双葉町表彰式



平成23年度 双葉町表彰式 — 永年の功績をたたえて —

特別功労表彰

3月25日、町政の進展に多大な貢献をされた方々を称えるため「平成23年度双葉町表彰式」が双葉町埼玉支所で挙行されました。式では、井戸川克隆町長の式辞に続いて、特別功労表彰1人、功労表彰1人、永年勤続表彰として2人の方々に表彰状が贈られました。表彰された方々は次のとおりです。

木幡 敏郎さん (羽鳥)

◆永年にわたり双葉町議会議員として地方自治の振興発展に尽くされた功績顕著

功労表彰

高野 一美さん (新山)

◆永年にわたり双葉町選挙管理委員会委員として地方自治の発展に尽くされた功績顕著

行政区長
町選挙管理委員会委員
委員長 4年
4年

永年勤続表彰

新工 澄子さん (下条)

◆多年にわたり双葉町民生児童委員として住民福祉の向上に寄与

民生児童委員 21年

志賀 孝さん (三字)

◆多年にわたり双葉町消防団員として消防活動に寄与

消防団員 25年



▲受章者を代表して謝辞を述べる
木幡敏郎さん

町民の皆さんへ

—今こそ心を一つに—

五月晴れの空にこいのぼりが元気に泳ぐ季節となりました。例年ですと、双葉町では田植えが盛んに行われ、農家にとつては大変忙しい時期でもあります。今は厳しい避難生活の中で、先の見えない不安を抱え、気持ちも少しも晴れることはありません。

しかし、私たちは長期にわたる避難生活の中で、厳しいことばかりではなく、数々の励ましの言葉や支援物資の提供を受けるなど、避難先の自治体、住民の皆さん、各種団体の皆さんの温かい心に触れることができました。そして、必ずと言つていいほど、支援してくださる皆さんは「みんなの幸せを祈っています」と声をかけてくださいます。

さて、避難生活が一年過ぎた今、皆さんはどの様な生活を送っているのでしょうか。大変苦しい生活を強いられていると思いますが、他の人のやることに一喜一憂するだけでなく、皆さんが身につけている趣味や特技を生かされ、書やお花、歌など、できることから取組んでみてはいかがでしょうか。必ず心が豊になります。

また、双葉町では、町民の皆さ

んが主体となる「町民の、町民による、町民のためのまちづくり」を提案します。

国の支援を待つばかりでなく、町の復興のイメージキャラクターを考えたり、以前行つてきた「双葉町の逸品づくり」を再開してもらいたいと思います。そして、有機野菜づくりや省エネなど、町の産業おこしの一翼を担つていただきたいものです。町としてもできる限りの支援をしてまいります。

さらに家系の存続を期さなければなりませんし、そのためにも健康でいなければなりません。双葉町の将来を担う子どもたちをみんなで守りましょう。

取り組まなければならない課題が山積していますが、国に対しても、被災者の立場に立ち、誠意を持って対応するよう、機会ある毎に要望してまいります。

復興・再生の道のりは厳しく、先が見えきません。しかし、町の皆さんが、今こそ心を一つにして取り組めば、必ず先が見えきます。そして、晴れ晴れとした気持ちで、子どもたちと一緒に高く泳ぐこいのぼりを見上げる日が必ずやってくることを信じて、頑張り抜きましょう。

福島復興再生特別措置法における

災害復興住宅融資の対象拡大のお知らせ

福島復興再生特別措置法の施行に伴い、災害からの早期復興を支援するための住宅金融支援機構が行う災害復興住宅融資（住宅の建設・購入の場合、当初5年間の金利0%など）について、原子力発電所の事故による避難指示区域内にお住まいになっていた方は、り災証明書（地方公共団体が現地調査等により被害状況を確認し、り災住宅の被害程度について証明したもの）が交付されない場合もご利用いただけるようになりました。

災害復興住宅融資の概要は、住宅金融支援機構のホームページに掲載しておりますので、ご覧願います。

【問い合わせ先】

住宅金融支援機構（災害専用ダイヤル）

フリーダイヤル0120-086-353

（9:00～17:00 祝日を除く）

ご注意ください

郵便物の転送サービスは1年間です

旧住所での郵便物の転送サービスは、郵便局へ転送届を出してから1年間です。継続して郵便物の転送を希望される方や避難先住所が変更になった方は、再度お近くの郵便局の窓口に転居届を提出いただくことで、県民健康管理調査や損害賠償に関する大切な郵便物が引き続き受け取れます。

詳しくは近くの郵便局へお問い合わせください。

環境省からのお知らせ

双葉町における常磐自動車道の除染モデル実証事業について

福島第一原子力発電所事故に伴い避難されている町民の皆さんには心よりお見舞い申し上げます。

環境省では、常磐自動車道における本格除染作業を実施するに先立ち、線量率の低減効果が見込まれ、経済的合理性があり、除去物の発生量を極力抑えた効率的・効果的な除染方法や作業員の安全を確保するための方策を確立することを目的にした除染モデル実証事業を実施いたします。

つきましては、同事業の概要を下記のとおりお知らせします。

事業内容

3.8 μ Sv/h（およそ年間20mSv）を超える区間を中心に、高速道路を対象として、様々な除染方法を試してその除染効果等を検証します。今後、広野インターから南相馬インターまでの早期の復旧・開通に取り組んでまいります。

事業業者 大成建設株式会社

実施期間 4月～7月末

事業実施区間

除染モデル区間	舗装状態	道路形態
双葉町大字山田字上萩平から大字上羽鳥字沢入地内の常磐自動車道の一部	未舗装	切土区間 盛土区間 橋梁

【問い合わせ先】環境省福島環境再生事務所

☎ 024-573-7330(代)



双葉町新山の森菓子店（店主：森正夫さん）の銘菓「味噌まんじゅう」が埼玉県加須市の和菓子店「美よ志」（店主：古山一男さん）で復活し、3月22日、売り上げの一部を義援金として井戸川克隆町長に手渡しました。

加須市に避難した森さんは、昨年11月にさいたま市のイベントでかしわ餅を作った際、古山さんと出会い、その後店を手伝うようになりました。古山さんが「何か双葉町の人が懐かしく思えるお菓子を作ってみては」と提案し、森さんが味噌、砂糖、ざらめ、小麦粉を練った皮で滑らかな白あんを包み、蒸した「味噌まんじゅう」を作った地元の市で販売したところ、3時間で500個が完売したそうです。その後、店頭での売れ行きも好評だということです。

味噌まんじゅうに使われる小麦粉は加須産「あやひかり」が使われており、双葉の味と加須の素材が縁で結ばれた自信の逸品として「美よ志」の店頭に並べられています。

福島双葉ちゃんが双葉町を激励



双葉ちゃんご家族は、避難所で生活する町民の方を慰問し、話を聞いたり、肩もみをするなどして交流しました。

3月20日、結城文子さん（長塚一）がめでたく満100歳を迎えた、避難先である福島市内の借り上げ住宅において賀寿式が行われました。

式では、金木明相双保健福祉事務所長から福島県知事賀寿と会津塗りの木杯が、井戸川克隆町長から賀寿と敬老祝い金が贈られました。

続いて、孫の結城友次さんが花束を贈りました。

また、家族を代表して三男の信行さんが謝辞を述べられました。

文子さんは、明治45年に原町市（現在の南相馬市）下高平に生まれました。

震災以前は、家の中を自由に動くことができたそうですが、震災により環境が変わってしまい、最近ではベットの上で過ごすことが多くなったそうです。

文子さんは、ご家族や親戚の方々に囲まれて幸せな賀寿を迎えられました。

「味噌まんじゅう」の 売り上げの一部を寄附



双葉町のふるさと大使（海キラキラ大使）である兵庫県西宮市在住の小学校3年生福島双葉ちゃんとそのご家族が3月19日、埼玉支所を訪れ、義援金と双葉ちゃんが通う南甲子園小学校の児童や大樹くんが通う真砂中学校の生徒などが書いた双葉町への激励のメッセージを井戸川克隆町長に手渡しました。

双葉ちゃんは、「テレビで双葉町の地震の状況や原子力発電所が水素爆発した時の映像を見た時、とても驚き、悲しくて涙が出ました」と話し、お父さんの廣志さんは「何度も双葉町を訪れ、その度に美しい自然環境と双葉町の人の優しさに触れ、双葉町が大好きになりました。双葉町に行くことを家族で楽しみにしていたのにこんなことになるなんて…」と声を詰まらせしていました。

再会を喜び合って



双葉北小学校6年生お別れ会



3月3日、スパリゾートハワイアンズにおいて、双葉北小学校6年生送る会が開催され、昨年の夏以来の再会を喜び合いました。

震災当時担任だった小野田陽子先生の呼びかけで10人の児童と保護者の皆さんが集まりました。

子どもたちは先生や保護者の皆さんに近況を報告し、一緒にプールやゲームで遊んだり、色紙に寄せ書きなどをして楽しいひとときを過ごしました。

思い出を胸に、それぞれ避難先に帰っても変わらぬ友情を誓い、また来年会うことを約束して別れました。

一日目は近くのグラウンドで、監督、コーチの指導の下、ランニングやキャッチボール、ミニゲームに汗を流しました。クラブ員たちは震災以来の再会を喜び合い、これからも野球を通して友情を深めてい

上羽鳥地区

3月31日、ホテルリストル猪苗代において、約50人が参加し、一泊二日の日程で上羽鳥地区総会及び交流会が開催されました。

総会に先立ち、永寿会（老人クラブ）、婦人会、親羽会など、各種団体の今後のあり方について話し合いました。続いて、震災後の避難生活の中で亡くなられた方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。

総会では収支予算、役員改

選などについて審議し、原案のとおり承認されました。役員改選では、上羽鳥区長に松木秀さんが再選され、活動計画では年1回の交流会を開催することが決まりました。

交流会では、上羽鳥に古くから伝わる神楽が披露され、伝統芸能を通して地域の絆が確認されるとともに、近況を語り合い再会を喜び合つていきました。

参加した皆さんは、また会う日まで元気でいることを約束し、涙ながらに避難先へと帰つていきました。

双葉町スポーツ少年団野球クラブ6年生を送る会



2月25日、小名浜オーシャンホテルにおいて、一泊二日の日程で双葉町スポーツ少年団野球クラブ6年生を送る会が開催され、齋藤恒光監督、コーチ、クラブ員21人他、保護者の方々が参加しました。初日の6年生を送る会では、6年生一人ひとりが近況を報告し、将来の夢について発表しました。

希望を胸に
新たな一步

入園・入学式

4月…双葉町を離れ、全国に避難している子どもたちも避難先の幼稚園や小、中学校に入学し、新たな第一歩を踏み出し始めました。

晴れやかな笑顔の子どもたちの姿には明日への希望を感じられます。



▲井原翼くん



▲左から土田峻介くん、渡部一くん、石橋亮佑くん、柳沼優月さん



▲左から3人目 落合美七海さん



▲左から松本なつみさん、三瓶蒼斗くん



▲左から高野心愛さん、渡辺ひよりさん、青田悠汎くん、中谷深愛さん、齊藤陽和さん



▲板倉優圭さん

—入園・入学式に撮影した写真をご提供いただきました—

双葉町立 小・中学校 教職員の人事異動のお知らせ 敬称略

平成24年4月1日をもって、双葉町立小中学校の先生方と教育委員会の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

長年、双葉町の学校教育及び教育行政にご尽力いただきましたことに対しまして心より感謝申し上げます。

＜双葉南小学校から転出、退職された先生方＞

職名	氏名	転出先
教頭	吉田 清宏	浪江町立浪江小学校
教諭	笠井由美子	退職
教諭	齋藤 明美	相馬市立大野小学校
教諭	田中 功	相馬市立中村第一小学校
教諭	若松 利久	いわき市立中央台北小学校
講師	増田 弘子	大熊町立大野小学校

＜双葉北小学校から転出、退職された先生方＞

職名	氏名	転出先
校長	八城 盛	退職
教諭	菅原 徹	郡山市立桜小学校
教諭	小野田陽子	会津若松市立謹教小学校
教諭	佐藤 信野	大熊町立大野小学校
講師	猪狩 智美	大熊町立熊町小学校

お世話になりました

＜双葉中学校から転出、退職された先生方＞

職名	氏名	転出先
校長	遠藤 隆徳	南相馬市立石神中学校
教諭	村井 敬徳	会津若松市立第六中学校
教諭	吉田 均	田村市立大越中学校
教諭	板橋 優子	飯館村立飯館中学校
教諭	佐藤 深鈴	湯川村立湯川中学校
副主査	大越 葉子	退職
講師	上原 すみ	勿来工業高等学校
講師	大浦 靖裕	相馬市立桜丘小学校
講師	吉田阿佐美	福島市立第二中学校
講師	菅野 信孝	相馬市立中村第一中学校
主事	橋本 幾子	相馬市立玉野中学校

平成24年度 双葉町立小・中学校教職員について 敬称略

このたびの人事異動により、平成24年度の双葉町立小・中学校教職員が次のとおり配置されましたのでお知らせいたします。

平成24年度 双葉町立小・中学校教職員名簿

＜双葉南小学校＞

職名	氏名	兼務先
校長	未永 幸弘	会津若松市教育委員会
教頭	高野伸一郎	加須市立騎西小学校
教諭	小林 恵美	二本松市二本松北小学校
教諭	中島 則夫	白河市立白河第一小学校
教諭	矢内寿美子	福島市立吉井田小学校
教諭	林 香代子	いわき市立好間第一小学校
教諭	佐藤 大志	加須市立騎西小学校
教諭	永野 忠明	福島市立福島第三小学校
養護教諭	白土 裕子	いわき市立平第三中学校
主事	青木 隆	二本松市立二本松北小学校

＜双葉北小学校＞

職名	氏名	兼務先
校長	松本 浩一	郡山市ニコニコこども館
教頭	泉田 淳	加須市立騎西小学校
教諭	皆川 利通	いわき市立平第五小学校
教諭	門馬 千玲	福島市立佐原小学校
教諭	佐伯 貴子	富岡町立富岡第一小学校
教諭	猪狩 建	二本松市立岳下小学校
教諭	稻垣 隆一	福島市立鳥川小学校
教諭	佐藤 衛	加須市立騎西小学校
養護教諭	猪狩みゆき	猪苗代町立長瀬小学校
主査	江井真由美	相馬市立中村第二小学校

お世話になりました

＜双葉中学校＞

職名	氏名	兼務先
校長	荒木 幸子	郡山市ニコニコこども館
教頭	堀本晋一郎	加須市立騎西中学校
教諭	田代美奈子	いわき市立内郷第一中学校
教諭	高橋 伸一	会津坂下町立坂下中学校
教諭	菊池 秀則	本宮市立本宮第一中学校
教諭	菅野 陽子	いわき市立四倉中学校
教諭	山田美由紀	二本松市立二本松第一中学校
教諭	松本 涼一	加須市立騎西中学校
養護教諭	青木 寿江	いわき市立平第二中学校
主査	菅野富士子	富岡町立富岡第一小学校
主任栄養技師	佐藤 優美	相馬市立中村第二小学校

教育相談について

お子さんの学校生活や進路などについての相談は、就学先の先生に相談するのが一番良いかと思います。しかし、どうしても相談できない場合は、下記の先生方が相談にのってくださいます。ただし、業務等の都合で電話に出られない場合もございますので、予めご了承願います。

応対者	電話番号
双葉南小学校 未永幸弘校長先生	080-2841-1690
双葉北小学校 松本浩一校長先生	080-2835-6233
双葉中学校 荒木幸子校長先生	080-2835-0162

※相談日時：月曜日～金曜日（祝日を除く）

午前9時～午後4時

平成25年度 双葉町職員採用候補者試験

平成25年度の双葉町職員採用候補者試験を下記のとおり実施する予定です。詳しい内容につきましては、6月の広報及び町ホームページ（5月末）に掲載いたします。

1 試験職種と採用予定人員

職種	行政職	土木職	建築職	保健師
採用予定人員	若干名	若干名	若干名	若干名



2 受験資格（学歴は問いません）

受験資格の年齢等、詳しくは、6月の広報及び町ホームページで掲載します。

ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません

- (1)日本国籍を有しない者
- (2)成年被後見人及び被保佐人
- (3)禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
- (4)本町職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- (5)日本国憲法施行日以後において日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

3 試験の内容

- ・行政職、土木職、建築職…教養試験と専門試験
- ・保健師…教養試験と保健師試験

4 試験の期日及び場所

区分	期日	場所
第1次試験	平成24年7月22日(日)	福島大学

5 受験手続及び受付期間

詳しくは、6月の広報及び町ホームページに掲載します。

【問い合わせ先】

埼玉支所 総務課 行政係
☎ 0480-73-6880



おもいやり駐車場利用証が、新潟県でも使えるようになりました

福島県では、車いすマークのある駐車スペースの適正利用を図るために利用証を発行する「おもいやり駐車場利用制度」を実施し、あわせて他県で発行する利用証との相互利用を行っています。

このたび、新潟県が加わり、福島、山形、栃木、群馬、茨城、新潟の6県は、それぞれの県で発行する利用証の相互利用に関する協定を締結しました。

これにより、6県でそれぞれ発行された利用証は、6県の協力施設いずれでも利用できるようになりました。

今後も、本当に必要な方が利用できるようご協力をお願いします。

なお、詳しくは、利用証の申請・交付窓口までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

- ・双葉町役場健康福祉課 福祉介護係
☎ 0480-73-7682
- ・福島県相双保健福祉事務所 ☎ 0244-26-1132
- ・県庁高齢福祉課 ☎ 024-521-7197

双葉地方水道企業団 お知らせ

○水道水のモニタリング結果について

当企業団の水道水に含まれる放射性ヨウ素、放射性セシウムは、平成24年4月15日現在、検出されておりません。（検出下限値は1Bq/kg未満）

- ◆採水場所：小滝平浄水場（広野町）・小山浄水場（楢葉町）
- ◆測定機関：いわき市水道局 水質管理センター
- ◆採水曜日：日・火・木曜日（週3回）

○平成23年3月分（2月使用分）の水道料金の減免について

平成23年3月11日以降請求予定だった平成23年3月分の水道料金については、減免することといたします。

【問い合わせ先】

双葉地方水道企業団 災害対策本部
☎ 0246-23-6751

にこにこサロンを開催します

平成24年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、毎月1回次のように仮設住宅等において開催します。

おおむね65歳以上の方を対象に、「にこにこ体操」や「折り紙」、「脳トレゲーム」、「ぬり絵」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。たくさんの方の参加をお待ちしています。



平成24年度 5月 福島県内仮設住宅 開催予定日

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
(いわき市) サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 080-6290-5927(高野)	5月1日(火) (毎月第1火曜日)	13:30~15:30
(郡山市) 喜久田仮設住宅	郡山市喜久田町早稻原字上ノ端54-4 080-6290-5939(吉田)	5月10日(木) (毎月第2木曜日)	13:30~15:30
(白河市) 白河郭内仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5930(芹川)	5月17日(木) (毎月第3木曜日)	13:30~15:30
(福島市) 北幹線第二仮設住宅	福島市飯坂町平野字内小原田8-1 080-6290-5941(林)	5月22日(火) (毎月第4火曜日)	10:00~12:00
(福島市) さくら仮設住宅	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941(林)		13:30~15:30

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター（介護予防事業所）

☎ 080-6033-1199 (古室)

J A ふたばからのお知らせ

J A ふたばでは第14回通常総代会を開催することといたしました。

総会に先立ち、下記により地区別座談会を開催いたしますので、お気軽にご出席ください。

<地区別座談会開催日時及び場所>

地区名	開催日時	開催場所	住所
郡山	5月9日(水) 午後2時	福島県農業総合センター	郡山市日和田町高倉字下道中116番地
会津	5月10日(木) 午後2時	会津若松市文化センター	会津若松市城東町14番地の52
広野	5月15日(火) 午後1時30分	広野支店	双葉郡広野町下北迫字苗代替1番地の1
川内	5月15日(火) 午後1時30分	川内支店	双葉郡川内村上川内字町分106番地
いわき	5月16日(水) 午後2時	いわき産業創造館 (ラトブ6階)	いわき市平字田町120番地
福島	5月17日(木) 午後2時	パルセいいざか	福島市飯坂町字筑前27番地の1

【問い合わせ先】JAふたば総務部 ☎ 024-554-3095

福島県からのお知らせ

原子力損害賠償に係る

巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施し被害者の皆さまを支援しております。

当面の予定として、平成24年6月までの実施日程・場所をお知らせします。

相談料は無料ですので、請求手続きにおける不明な点などお気軽にご相談ください。

巡回法律相談実施予定

実施市町村	実 施 日	実施会場（所在地）
福島市	5月30日(水) 6月20日(水)	福島県青少年会館第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
二本松市	5月23日(水) 6月13日(水)	福島県二本松合同庁舎2階会議室 (二本松市金色424-1)
伊達市	5月16日(水) 6月6日(水)	福島県伊達合同庁舎1階会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124)
郡山市	5月9日(水)、23日(水)、30日(水) 6月6日(水)、13日(水)、20日(水)	福島県郡山合同庁舎第5会議室 (郡山市麓山1-1-1)
白河市	5月10日(木)、18日(金)、24日(木) 6月7日(木)、14日(木)、21日(木)	白河商工会議所会議室(白河市道場小路96-5)
会津若松市	5月10日(木)、18日(金)、29日(火) 6月7日(木)、19日(火)、28日(木)	福島県会津若松合同庁舎本館1階会議室 (会津若松市追手町7-5)
南会津町	5月11日(金)	南会津町商工会田島本所会館会議室 (南会津町田島字行司12)
只見町	5月14日(月)	只見町朝日地区センター1階農事研修室 (只見町大字黒谷字館658)
	5月28日(月)	只見町明和地区センター1階談話室 (只見町大字小林字上照岡1300)
南相馬市	5月10日(木)、17日(木)、24日(木)、31日(木) 6月7日(木)、14日(木)	福島県南相馬合同庁舎402会議室 (南相馬市原町区錦町1-30)
いわき市	5月14日(月)、22日(火)、31日(木) 6月12日(火)、19日(火)	福島県いわき合同庁舎南分庁舎3階中会議室 (いわき市平字梅本16番地) ※5月22日のみ本庁舎4階大会議室

第2回 障がい者のためのわかりやすい

東電賠償学習会

日 時：5月29日(火) 午後1時30分～午後4時30分
(開場：午後1時)

場 所：いわき市生涯学習プラザ大会議室(いわき市)

参加費：無料 ※事前申し込みが必要です。

※手話通訳、点訳及び要約筆記をご用意する
予定です。

○主催：日本障害フォーラム（JDF）、日本弁護士連合会、
福島県弁護士会

皆さんのがえている原発事故の問題、悩みなど、具体的な事例について弁護士から分かりやすく説明する学習会です。

<プログラム>予定

原発事故に関する東電に対する損害賠償請求について、以下の説明、解説を行う予定です。

- ① 請求できる損害の考え方
(要援護者特有の損害)
- ② 具体的な請求方法
- ③ 争う場合の解決の仕組み
- ④ 障がいのある人特有の問題

全国に避難されている皆さんから寄せられた
お便りやメールの一部をご紹介いたします

双葉の風だより

前略 お世話になつております。デジタルフォトフレーム確かに受け取りました。ありがとうございます。私は、ここ小川町に住まわせていただきて七ヵ月になり、地域の方々の温かさに触れ過ごしております。

近くには、原町区から避難されている方もおり、時々訪ねて来てくださいます。

また、隣町ときがわ町には二〇代（〇一時代）からの友達（この地を紹介してくれた）もあり、心強く感じております。

でもやはり、双葉町がいつ何処へ落ち着くのか、早くその日を…と心から祈つて毎日です。

少ししづつ春が訪れて来ます。今、どうぞ皆様ご心身大切になさりお過ごしくださいませ。

ありがとうございました。
畠中 歌子

この度は、大変使いやすいデジタルフォトフレームありがとうございます。デジタルフォトフレーム届きました。ありがとうございます。仙台の方にいると双葉町の情報など知ることが難しいので、とても助かります。

ありがとうございます。岡田 雄一

前略

お世話になっております。
デジタルフォトフレーム届きました。ありがとうございます。
仙台の方にいると双葉町の情報など知ることが難しいので、とても助かります。

ありがとうございます。岡田 雄一

お元気ですか？

デジタルフォトフレームが届きました。双葉町のことが手にとるようにわかつてうれしい！
風邪などひかぬように注意してください。
井戸川由美子

いわき市南台仮設住宅に「ふたばふれあい処」オープン

3月27日、いわき市南台応急仮設住宅敷地内に直売所「ふたばふれあい処」がオープンし、記念式典が開催されました。

ふたばふれあい処は、マルマサ食品の松本正道社長が、住民の買い物の支援や雇用の確保などを目指す「県きずなづくり直売所モデル事業」として開設し、県産農産物や加工食品、生活雑貨などを販売します。

記念式典では、松本社長が、「たくさんの人たちのためにがんばっていきたい」とあいさつし、井上一芳副町長や齋藤宗一自治会長が祝辞を述べました。続いて、関係者によるテープカットが行われました。

開店を待つて訪れた人々は、うれしそうに野菜や魚などの生鮮食品や惣菜、加工食品などを買い求めていました。

前略 お世話になつております。デジタルフォトフレーム確かに受け取りました。ありがとうございます。私は、ここ小川町に住まわせていただきて七ヵ月になり、地域の方々の温かさに触れ過ごしております。

近くには、原町区から避難されている方もおり、時々訪ねて来てくださいます。

また、隣町ときがわ町には二〇代（〇一時代）からの友達（この地を紹介してくれた）もあり、心強く感じております。

でもやはり、双葉町がいつ何処へ落ち着くのか、早くその日を…と心から祈つて毎日です。

少ししづつ春が訪れて来ます。今、どうぞ皆様ご心身大切になさりお過ごしくださいませ。

ありがとうございました。
畠中 歌子

例年はない大雪の寒い冬がやっと終わりそうになりました。もうすぐ弥生、お雛様ですね。

毎日ご苦労様です。

デジタルフォトフレームを受け取りました。仕事のため家族と離れ、一人で生活をしています。仕事を終えて部屋に帰った時、フォトフレームの明かりを見るとホッとしますが、フォトフレームが傍にあることに気が持ちになります。双葉町の情報は携帯でも見ることができます。しかし、双葉町がより近くになったような感じがして、少しでも前に進んでいきたいですね。

小林 敏雄

デジタルフォトフレームありがとうございます。これからもよろしくお願ひ申上げます。年度末お忙しいでしょうが、がんばってください。
西内 隆夫



仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件 (3月15日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	1K	9戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	2K	25戸	
	3K	17戸	
	計	51戸	
郡山市	1K	4戸	富田町町田15
	計	4戸	
	1K	5戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4
	2K	19戸	
	3K	5戸	
	計	29戸	
	1K	12戸	日和田町高倉字諫訪前82
	2K	53戸	
白河市	3K	41戸	
	計	106戸	
	1K	12戸	郭内151
	2K	35戸	
	3K	20戸	
	計	67戸	

2. 募集締切 当分の間受け付けをします。

窓口受付時間：午前9時～午後5時まで

3. 応募方法

双葉町仮設住宅入居申請（抽選申込）書に必要事項を記入の上、双葉町役場福島支所へお申し込みください。直接お越しになれない場合は、申請書をファックスまたは郵送にてお申し込みください。

※3Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申し込みください。

※お電話、Eメールでの申請は受け付けできません。

4. 入居時期 入居決定次第順次入居可能

5. 入居期間

原則として1年間、ただし、特別な事情がある場合のみ最長平成26年3月31日まで

6. その他

各地区にペット飼育可能な区間を一部設けますが、応募多数の場合は抽選となります。

※住宅の家賃は無料です。駐車場は1世帯1台です。

※エアコン、ガスコンロ、テレビ、冷蔵庫、炊飯器、電子レンジ、洗濯機、ポットは備えてあります。

※光熱水費、電話料、食費などの経費は入居者の負担となります。

[問い合わせ先] 福島支所 ☎ 024-973-8090

FAX024-933-5124

白河市郭内双葉町応急仮設住宅 住所：白河市郭内151



自治会役員（敬称略）

役職名	氏 名
会長	清水 敏英
副会長	鈴木よしい
会計	山崎ノブ子
役員	風間 四郎
"	大久保義勝
"	村田 淳子
監査	伊澤 智子
相談役	清水 富子



▲幸せを呼ぶ黄色いだるま
自治会長 清水敏英さん

県の紹介事業より4人の職員が配置され、入居者へのお知らせや支援物資の配付、安全確認パトロールや環境整備などを行っています。

白河市郭内応急仮設住宅には、約50世帯、80人が生活しています。東北の駅百選に選定された近代建築のJR白河駅の北側にあり、近くには新しくできた図書館や国指定の史跡である小峰城跡などがあります。

自治会では、復興を願い故郷を忘れないために「幸せを呼ぶ黄色いだるま」の制作を行い販売しています。さらに、タオルで「負けないゾウ」のお手拭を制作し、お世話になった方々へのお礼として配布しました。また、住居者の皆さんとの引きこもりを無くし、親睦を図るために、畑作りやお花見などを計画して、少しでも避難生活を明るくするように努めています。

ぼくの夢・わたしの夢



双葉南小学校6年 笠原 鮎一郎くん
(現在:埼玉県加須市立騎西小学校)

ぼくの将来の夢は、プロ野球選手になることです。

ぼくは、小学4年生から双葉町スポーツ少年団に入団し、野球を続けてきました。でも、震災で避難してきてから野球をやっています。だから今は、野球の力が落ちていると思います。避難生活の中で野球を続けることはとても大変なことだと思うけど、大人になるまでに野球をがんばりたいです。

なぜ野球選手になる夢を持ったのかというと、去年、東京ドームの始球式でファーストをやりました。ぼくの後ろにいてくれたのは、小笠原選手でした。その時にすごく夢をもらいました。プロになるこんなに観客が来て、こんなに応援してもらえるほど期待されているのだと思いました。その期待感をぼくも味わいたいからです。

夢に向かってたくさん努力してプロ野球選手になれるようにがんばります。

国内外の皆さんから千羽鶴や絵手紙、激励のお言葉などをいただいている



▲3月27日、埼玉県加須市在住の粘土工芸作家である薄葉正苑様より、粘土で作られた桜の木が贈られました。薄葉様は「双葉町の花が桜であることを知り、ぜひ寄贈したいと思いました」と話されました。



3月22日、京都府京丹波町から義援金や千羽鶴、メルトなどが贈られました。セカイジ、須地高校生が作つ



渡邊優人くん(1歳11ヶ月)とお母さんの摩巳さん(郡山)

電車が大好きです

▲現在、埼玉県羽生市にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成24年4月18日現在)

- ・福島県内に避難されている方 3,564人
- ・福島県外に避難されている方 3,446人

一福島さわやか行政相談キャンペーン

5月1日(火)~31日(木)

双葉町は全町民が避難中であるため、行政相談所の開設はいたしませんが、相談事等がありましたら、下記までご相談ください。

福島行政評価事務所 ☎024-534-1101

双葉町では、町民の皆さまの**所在の把握**を行っています。これまで滞在されていた場所から移動された場合や仮設住宅等に移られた場合もご連絡をお願いいたします。

○総合受付 コールセンター 0120-455-770

埼玉支所 〒347-0105

埼玉県加須市騎西598-1 旧騎西高校内

☎ 0480-73-6880 FAX 0480-73-6926

✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

福島支所

〒963-8024

福島県郡山市朝日一丁目20番2号

☎ 024-973-8090 FAX 024-933-5120

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

連絡先

○双葉町公式 臨時サイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/>
ホームページ 臨時モバイルサイト(災害版) <http://www.town.futaba.fukushima.jp/mobile/>